

# 庄内

## 総合支庁 ニュース

令和3年

# 8

月号

(偶数月に発行します)



こまきがわ  
写真／小牧川水門モニターの確認状況  
(河川砂防課 執務室内)

☀️ 県ホームページでもご覧いただけます。

山形県ホームページ  
庄内総合支庁ニュース



f 山形県庄内総合支庁  
公式Facebook



## 地元定着・回帰に向けた若者への働きかけをさらに強化 庄内若者定着促進会議



7月30日、「令和3年度庄内若者定着促進会議」を開催しました。地域の産・学・官・金・労・言の各界代表者が一堂に会し、それぞれの立場から若者の県内定着・県内回帰の促進に向けた意見交換を行いました。

業を知ってもらう機会も必要。」など、様々な意見がありました。いただいたご意見を参考に、引き続き連携して取り組んでまいります。



地域産業経済課  
☎0235-66-5484



令和2年度高卒者の県内定着率は、これまでの取り組みの成果と新型コロナの影響から上昇し、その傾向は今年度も続くと見込まれることや、庄内地域で25歳～34歳までの転入超過が10年続いている「強み」調査の中間報告などを行いました。

出席者からは、「若者に投資することが地域を活性化させる。」「小中学生や保護者に地元企



## 豚熱の防疫措置への協力に対する 知事感謝状贈呈



7月28日、昨年末に発生した豚熱の防疫措置において多大な協力をいただいた民間12団体(右表参照)に対し、知事感謝状を贈呈しました。団体を代表し庄内たがわ農協太田政士代表理事組合長に吉村知事から、管内4農業協同組合長には、同日、高橋庄内総合支庁長が各団体を訪問し贈呈しました。また、その他の団体に対して

は、農林水産部長から贈呈する予定です。年末の極寒の中、24時間体制で作業にあたっていただいた関係機関の皆様へ改めて深く感謝申し上げます。

おかげさまで管内の養豚場に異状は認められていませんが、4月以降、管内の野生いのししで豚熱陽性事例が3例確認されており、依然警戒が必要です。

当課では、本病の発生防止のため、豚へのワクチン接種を徹底するとともに、養豚場における豚熱ウイルス等の侵入防止対策など衛生管理の徹底についての指導、野生いのししの検査の強化等を行っています。今後も関係機関と協力し、本病の再発防止に全力で努めてまいります。



酒田市袖浦農業協同組合



家畜保健衛生課  
☎0235-68-2151

### 知事感謝状贈呈団体

- 庄内たがわ農業協同組合
  - 鶴岡市農業協同組合
  - 余目町農業協同組合
  - 庄内みどり農業協同組合
  - 酒田市袖浦農業協同組合
  - 全国農業協同組合連合会山形県本部
  - 山形県農業共済組合
  - 一般社団法人山形県警備業協会
  - 一般社団法人山形県建設業協会
  - 公益社団法人山形県トラック協会
  - 一般社団法人山形県バス協会
  - NPO法人コメリ災害対策センター
- (順不同)



# 若者定着に向けて

庄内の若者が地域に定着するよう取り組んでいます。



## 庄内若者協働考房ミーティング開催

「食の都庄内」のブランド価値の向上と「食」の魅力を活かした若者定着・回帰についての意見交換

わかものきょうどうこうぼう

7月21日、「庄内若者協働考房ミーティング」を開催しました。様々な分野で活躍されている庄内地域の若い方々より、経験を踏まえた沢山のご意見をいただきました。

### ○庄内の「食」の魅力について

「いつ、何を食べてもおいしい!」「生産者、料理人、流通との距離が近い」「山から海までどんな食材も採れる」「胃袋をつかまれ移住した!」「コミュニティに入り込むほどおいしいものに出会える」「身体が喜ぶ食」

### ○「食の都庄内」の効果的なPRについて

「大学構内で規格外野菜を販売し、学食で伝統料理を提供すれば、SNSでの発信も期待できる」「6次産業の専門家から農家への企画提案」「ターゲットに応じた施策が必要。菜食主義者のような感度が高く発信力のある方へのPR」「SNS発信力アップ講座の開催」

### ○食の魅力を活かした若者定着・回帰について

「東北各県と連携した食の教育『食留学』の実施」「リーズナブルな価格で庄内の若者が『食の都』をあたりまえに楽しめるようになれば『食の都庄内』を自慢できるようになる」

ご意見は事業の参考にさせていただきます。



総務課

☎ 0235-66-5439

わかものしょうがっこう

## 若者「庄」学校

## ワークショップを行いました!

庄内のすべてが教室、庄内のすべてが先生 庄内のすべてを学ぶ

若者地元魅力発見促進事業では、若者定着・回帰の土台となる郷土愛の醸成を図ることを目的に、管内の高校2年生を対象とし、庄内地域で活躍する若者と共に郷土について考え、交流するワークショップ・フィールドワーク・発表会を企画しています。

第1回目のワークショップは、7月17日にまちづくりスタジオ鶴岡Dadaで開催しました。鶴岡田川地域の高校生15名が、3つのグループに分かれて”夏を感じる”プランや、”ぶらり食い倒れの旅”などの地元の遊び・観光プランを作成しました。高校生は、地域の魅力的なスポットについて意見を交換したり、バス・電車の時刻表を確認しながら、地域の若者と一緒に楽しく取り組んでいました。

8月1日には、作成したプランを実際に酒田飽海地区の高校生に案内するフィールドワークを行い、郷土の魅力に触れてもらいました。

酒田飽海地区の高校生も同様のワークショップとフィールドワークを行い、9月4日には参加者による発表会を開催予定です。



総務課

☎ 0235-66-5417



## 「WAKU WAKU WORK2021」開催!

### 地元企業の仕事を体験

中高生と地元企業の職業体験会「WAKU WAKU WORK2021」を、6月2日に鶴岡中央高校、10日に酒田南高校、23日に庄内総合高校で開催しました。

地元企業の仕事を体験することで、卒業後の地元就職への意識を高めることを目的として実施しており、生徒は10人前後のグループに分かれて企業のブースを回り、実際の仕事の一部を体験します。

今年度は受付での消毒・検温、会場を2か所に分ける等、新型コロナ対策を行い、体験中も密を避けながらの実施となりました。そのような中でも、生徒たちは車いすの試乗、重機の操作、採血体験など、幅広い仕事を楽しみながら体験し、仕事の楽しさや難しさ、地元企業の事業内容について理解を深めました。

次回は、温海中学校2年生を対象とし、9月1日～2日に開催します。

地域産業経済課

☎ 0235-66-5487



鶴岡中央高校



酒田南高校

# 若い発想で新しい食べ方を提案！

酒田南高校家庭科生徒によるメロンレシピ開発



「食の都庄内」ブランド戦略会議では、メロンの消費拡大と、「食の都庄内」を担う地元料理人の育成を目的に、7月27日に、「酒田南高等学校家庭科生徒による庄内砂丘メロンレシピ最終試作及び選考会」を開催しました。



メロン料理の数々

事前の学内選考を通過したオリジナルレシピ15品について生徒自らが試作し、「食の都庄内」親善大使太田政宏シェフらが、味・作りやすさ・話題性などの観点から審査を行い、最優秀賞1点、優秀賞8点を選考しました。

また、太田親善大使によるメロンカット実演も行い、美しいカットに生徒たちは真剣な眼差しを注いでいました。

今回、選考された全9品及び太田親善大使のカット動画のQRコードはレシピ集にまとめ、来年6月に直売所やスーパーに配布し、メロンの消費拡大に活用する予定です。



メロンカットの様子



地域産業経済課

☎0235-66-5490

## “建設部”でのインターンシップ受入れ

庄内総合支庁建設部では、7月7日～9日の3日間、インターンシップ(就業体験学習)事業として、鶴岡工業高校建築科の生徒2名の受け入れを行いました。

1日目:道路計画課、2日目:河川砂防課、3日目午前:建築課、3日目午後:建設総務課

このうち河川砂防課では、同課の事業について説明した後、



ゆじりがわはいすいひもんこうじ  
「湯尻川排水樋門工事」

したむらちくほかようへきほかせつちこうじ  
「下夕村地区外擁壁外設置工事」の現場見学を行いました。

生徒からは、「人々の生活を快適で安全なものにしたいという、働いている人の情熱を感じた。」「授業では経験できないことを学び、知識を深めることができた。」といった感想がありました。

私たちの仕事のほんの一部ではありますが、お見せすることができ、建設会社の方の仕事に対する思いも伝わったと思います。今回の経験をきっかけに、建設業界に興味を持っていただけたら幸いです。

河川砂防課

☎0235-66-5627

写真は道路計画課でのインターンシップの様子



## 命に寄り添う仕事『看護師』の魅力を学ぶ



鶴岡工業高校での様子  
(心肺蘇生法の実技体験)

庄内地域の人口あたりの看護師数が県全体の平均数を下回っていることから、庄内保健所では、看護師の魅力に触れ進路の一つとして考えてもらうきっかけづくりのため、「看護師の仕事を学ぶ学習会」を開催しています。

6月24日に鶴岡一中の2年生190名、7月9日に鶴岡北高の1・2年生の希望者51名、7月29日に鶴岡工業高の1～3年生の希望者4名に対して学習会を開催しました。

庄内病院の現役看護師から講師としてご協力いただき、看護師の仕事内容

や魅力、体験談、実技として包帯法や脈拍の聴取方法などについて学びました。

生徒からは、「心のケアまで行うことも看護師の仕事なんだと勉強になった」「『患者さんに一番近い存在』という言葉が印象的だった」といった感想がありました。

この学習会は小中高生を対象に実施しており、随時申込を受け付けていますので、興味があれば下記担当までご連絡ください。

保健企画課

☎0235-66-4736



# 今年も実施しました！ 最上川河口クリーンアップ

7月3日に最上川河口右岸のクリーンアップ(主催:美しいやまがたの海プラットフォーム)が行われました。

早朝からの清掃活動に、地元企業の皆様や一般参加者の方々総勢約500名という多くの参加をいただき、1トンを超えるごみを回収することができました。

海ごみの7~8割は、陸域部から川を通して海に流れ出たものと言われています。ポイ捨てされたもの、不用意に風に飛ばされたり、増水により川に入り込んでしまったものが最終的に海に流れ出すと言われています。一人ひとりの心がけで海ごみを減らしていきましょう。

また、10月17日に湯野浜クリーンアップを実施します。「裸足で歩ける庄内海岸」を目指して、是非一緒に汗を流してみませんか。

環境課

☎ 0235-66-4914



庄内総合支庁  
Facebook  
にて情報発信中



## 「SNS映えする料理写真の撮り方講座」を開催しました！

集客率もUP！



参加者が撮影した写真



「食の都庄内」ブランド戦略会議では、飲食店が料理のおいしさを最大限に伝えられる写真の撮影方法を学び、SNSを通じた集客力アップにつなげるため、7月20日に「SNS映えする料理写真の撮り方講座」を開催しました。

講師は、酒田市でフードスタイリストとして活躍されている「アトリエアン」代表の三木ゆみ氏。はじめに座学で撮影技術を学び、その後、実際に料理の写真撮影を行いました。

参加者からは「講師から指導を受けながら実践ができて有意義だった」「ゆがみを無くすためズームにして引いて撮るなど、スマホでの撮影のコツがわかった」などの声がありました。

地域産業経済課

☎ 0235-66-5490

## 情報発信サイト「N.N.REIKO」リニューアル

庄内地域の美しく活力ある農村づくり(庄内農業農村整備)の「いま」をお伝えします！



平成22年から農業農村整備の旬情報をお伝えしてきた、情報配信サイト「N.N.REIKO」をリニューアルしました！

令和3年7月から、①事業効果(農業農村整備事業の効果は?) ②共同活動③環境配慮④事業トピック(その他、工事の進捗など)の4分野で、『庄内農業農村整備』の「いま」をお伝えしていきます。ぜひ、ご覧ください！

<https://www.pref.yamagata.jp/337046/sangyo/nourinsuisangyou/nnreiko/index.html>

詳しくはこちら ▶



農村計画課

☎ 0235-66-5549



防災重点農業用ため池



メダカを放流する子どもたち



ラジコンヘリコプターについて学習

発行/山形県庄内総合支庁 総務企画部総務課 総合案内窓口

〒997-1392 山形県東田川郡三川町大字横山字袖東19-1 TEL:0235(66)5598 FAX:0235(66)2835

山形県ホームページ内で「庄内総合支庁ニュース」モニターを募集しています。

モニターからいただいたご意見の一部は庄内総合支庁フェイスブックでご紹介しています。

山形県ホームページ  
庄内総合支庁ニュース

